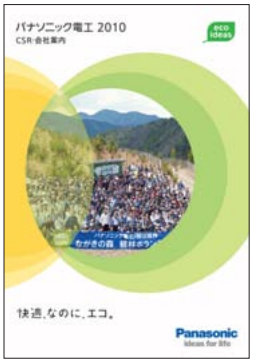
パナソニック電工 2010

CSR･会社案内

eco ideas

快適、なのに、エコ。

Panasonic
ideas for life



「パナソニック電工 2010 CSR・会社案内」について
～CSR活動は当社の企業活動そのものである～

CSR活動は、当社企業活動そのものであるとの考え方から、
本冊子は「当社のめざす姿」、「主なCSR活動」、「会社概要」を一冊にまとめて紹介しています。

〈表紙の写真について〉
和歌山県田辺市にて行った植林ボランティアの様子です。詳しくはP18をご覧ください。

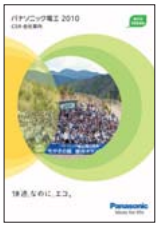
冊子

冊子でご紹介できる内容は限られています。
さらに幅広く、詳細な活動については、Webサイトをご覧ください。
本冊子では Web マークで、ご案内しています。

目次 contents

01 本冊子について
03 トップメッセージ
05 当社のめざす姿
09 CSR活動トピックス
09 主な活動と目標
11 ～環境への取り組み～ 温暖化防止への貢献
13 ～お客様への取り組み～ 商品を快適にお使いいただくために
15 ～従業員への取り組み～ 良き経営の根幹は人である
17 ～地域・社会への取り組み～ 良き企業市民として
19 会社概要
19 「強み伝い」の事業の多角化と成長
21 代表的な商品紹介
23 グローバルネットワーク
25 パナソニック電工グループの概要、主な社外評価

当社は主に3つの冊子と
Webサイトで企業情報の
開示を行っています。


CSR・会社案内

アニュアルレポート

株主通信

パナソニック電工　検索

当社の詳しい企業情報はWebサイトをご覧ください。

当社Webサイト主要コンテンツ

Web

CSR/社会・環境ページ　Web contents

お客様への取り組み
- 品質活動
- CS活動
- UD活動

環境への取り組み
- 環境経営・方針
- 環境・マネジメント
- 環境・プロダクツ&サービス
- 環境・ファシリティ
- 環境・コミュニケーション
- 生物多様性への取り組み
- 環境パフォーマンスデータ
- 環境保全活動の歴史

従業員への取り組み
- ダイバーシティマネジメント
- ワーク・ライフ・バランス
- 労働安全衛生
- 人権

サプライチェーンへの取り組み
- CSR調達

地域・社会への取り組み
- 各種企業市民活動

ステークホルダーダイアログ
- 過去の開催内容

CSRマネジメント
- コンプライアンス
- コーポレート・ガバナンス
- リスクマネジメント
- 情報セキュリティ

など

「企業は社会の公器」が根幹

2010年はパナソニック電工グループにとって、新しい中期計画をスタートさせる節目の年となります。本業で、持続可能な社会の実現に貢献する新しい技術と商品開発活動に拍車をかけるとともに、国内はもとより海外のお客様を強く意識しながらグローバルでの事業活動を拡大していきます。新しい成長に挑戦する姿がこの中期計画でめざすところです。

「新」ビジネスモデル、「新」チャネル、「新」事業、「新」商品などさまざまな「新」に向けた取り組みを進めていきますが、その根底において当社には変えてはならない、全社員が常に心に刻みつけておかねばならない哲学があります。それは1918年の創業以来、継承している「企業は社会の公器」であるという考え方です。事業は単に営利を追求するものではなく、生活の改善向上に役立ち、文化の発展に貢献しなければ、その使命を果たせたとはいえません。当社CSRの考え方の基本はここにあります。時代に先んじて社会の要請に応える「新」をめざした活動は、その原点において「伝統」の経営哲学のもと遂行されるべきものと固く信じています。

創業者 松下幸之助が定めた綱領

代表取締役 社長
長榮周作

「企業は社会の公器」であることを常に自覚し、快適とエコを両立する商品づくりと、企業市民活動に取り組んでいます。

快適とエコの両立

創業100周年に当たる2018年にめざす姿を「アジアを代表する『快適&エコ』のグローバル企業」と定めました。これまで日本国内で培ってきた「快適」や「エコ」を実現する技術やノウハウをグローバルに展開していきます。その核となるのは中国やインドをはじめとするアジア諸国です。これまでは一部の富裕層を主要顧客としていましたが、中間所得層が大きく拡大しており、そのニーズに適合した手ごろな価格の商品を提供することで、その国に応じた快適とエコ、それぞれの実現に寄与していきます。

加えて、相反する関係にある「快適」と「エコ」を両立させることで新たな価値を生み出す事業を育成していきます。たとえば、ハイブリッド住宅はその一つです。電力会社により送電される交流の電気と、太陽光発電や燃料電池などによって家庭で創られた直流の電気を、ハイブリッドカーのように賢く使い分ける住宅の実現です。当社はそのための設備、部材そしてシステムソフトの開発を進めています。これが完成すれば、快適にくらしながら20～30%のCO_2削減が実現できるでしょう。また、住宅のみならず、ビルや街を対象に、照明器具や空調、セキュリティの機能を最も経済的に発揮させるためのモニタリングシステム、制御システムの開発にも取り組んでいます。

このような取り組みを通じて「アジアを代表する『快適&エコ』のグローバル企業」に向けて着実に前進していきます。

地域社会と共に学び、成長する

当社では多様なステークホルダーの方々と企業市民として触れあい、お互いが学び、成長する活動を重視しています。

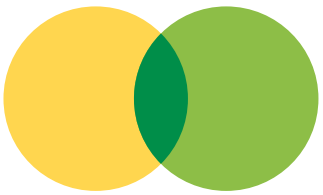
たとえば、2007年から始めた和歌山県田辺市龍神村での植林「ながきの森」活動は、毎年約400人が参加する全社行事として定着しました。さらに地域と当社が互いに学びあう場として、社員が講師となり地元の小学校で「あかりのエコ教室」や地域のお祭りで「LEDを使った工作教室」を実施しています。

このような活動は企業スポーツの分野でも盛んで、アメリカンフットボールクラブの選手たちが休日に中高校生を指導したり、日本の武道である剣道では社内の有段者が地域の警察や学校で指導者として活動しています。私も剣道では七段という段位をもち、折に触れて、地域の方々との鍛錬に汗を流しお互いの交流を深めています。このことは、私の会社生活にとって大変意義深いことだと思っています。

また、芸術の分野では2003年に東京本社ビルに汐留ミュージアムを開設しました。フランスの画家ジョルジュ・ルオーの作品を収蔵・展示するとともに、「建築・住まい」「生活文化」をテーマにした各種企画展示を年3回開催し、2010年4月末までに延べ約38万人の方々に鑑賞いただきました。当社芸術・文化の情報発信基地の役割を担っています。

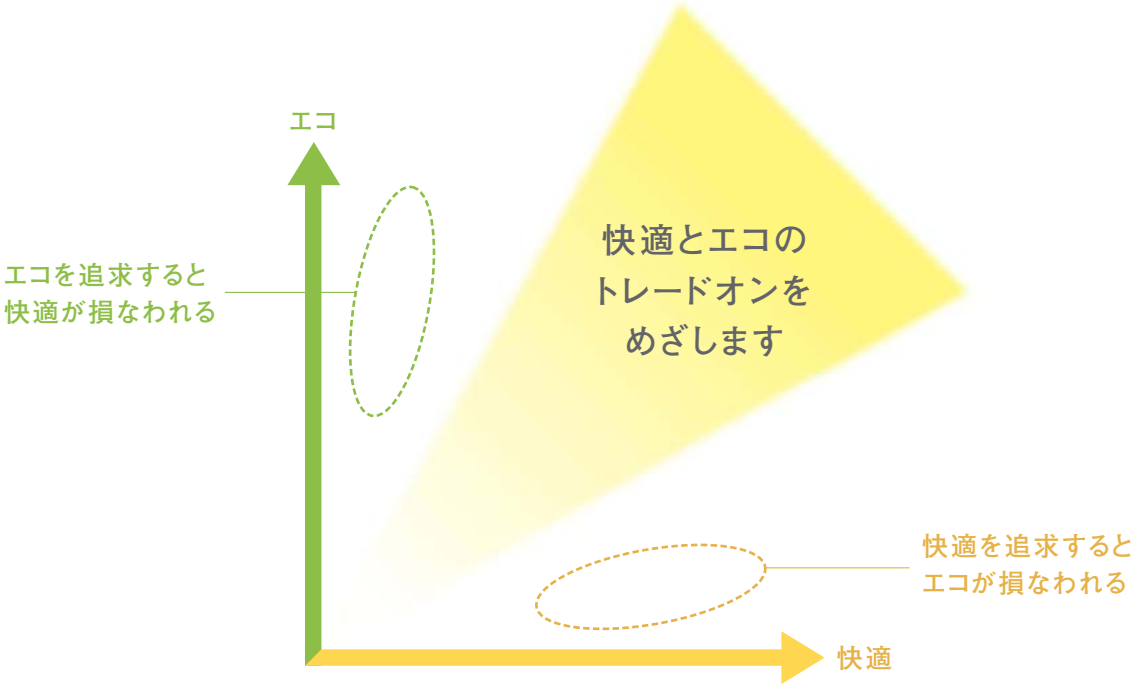
私たちは「企業は社会の公器」の考え方のもと、本業で未来を切り拓く使命を遂行するとともに、多様なステークホルーダーの方々と企業市民としての交わりを深め、お互いが成長していくことを実感することも大きな喜びと考えています。

今も週に一度は道場に行き
社員とともに汗を流しています。



快適、なのに、エコ。

「快適」と「エコ」という2つの便益は相反する関係、
すなわちトレードオフの関係にあります。
当社はこの2つの便益、それぞれの実現に対する技術や
ノウハウを長年蓄積してきました。
その2つを持つ私たちだからこそ「快適」と「エコ」を両立させる、
すなわちトレードオンの関係を創りだせると信じています。
「快適、なのに、エコ。」「エコ、なのに、快適。」
そんなくらしを実現するために
パナソニック電工は今後も努力を重ねていきます。



当社がこれまで培ってきた技術やノウハウを最大限に活用し、
快適とエコを両立する商品・サービスをグローバルにご提供いたします。

快適

自分最適
- デザイン性向上
- 嗜好性を加味

ここちよさ
- 五感への好ましい刺激付与

健康
- 健康維持
- 筋力向上

便利
- おそうじラクラク
- 操作性向上

不快感の除去
- ノイズ、悪臭、空気・水の汚れの除去

安心・安全
- 不安・危険の除去
- 犯罪・事故の可能性低減

エコ

省資源
- 再生資源
- 解体時間短縮
- 軽量化

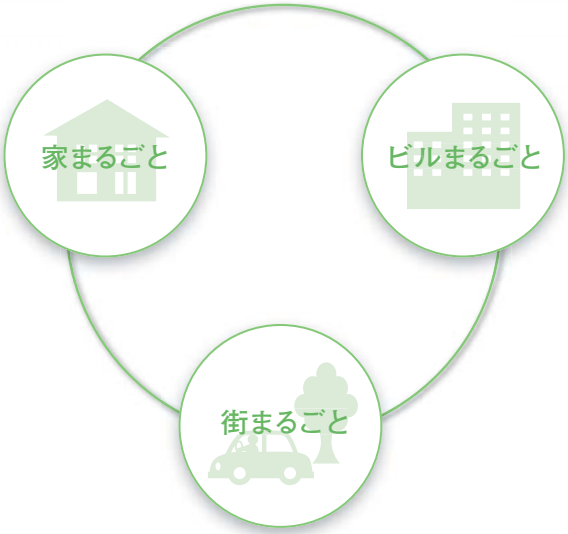
環境貢献
- 節水
- 自然共生調達
- 水・空気の浄化
- 廃棄物削減

省エネ
- 使用時・待機時のエネルギー消費効率改善
- 新エネルギー（太陽光・燃料電池など）

クリーン
- 環境負荷化学物質削減

長寿命
- ネットワークメンテナンス
- 高耐久性

私たちは、特長のある技術や
商品をいくつも組み合わせて、
住宅から、ビル・店舗などの街、
そしてこれからは、
クルマの中も空間ととらえて、
新しい方向を考えていく……
すべての生活空間で、
「快適」と「エコ」を両立したくらしを
お届けします。



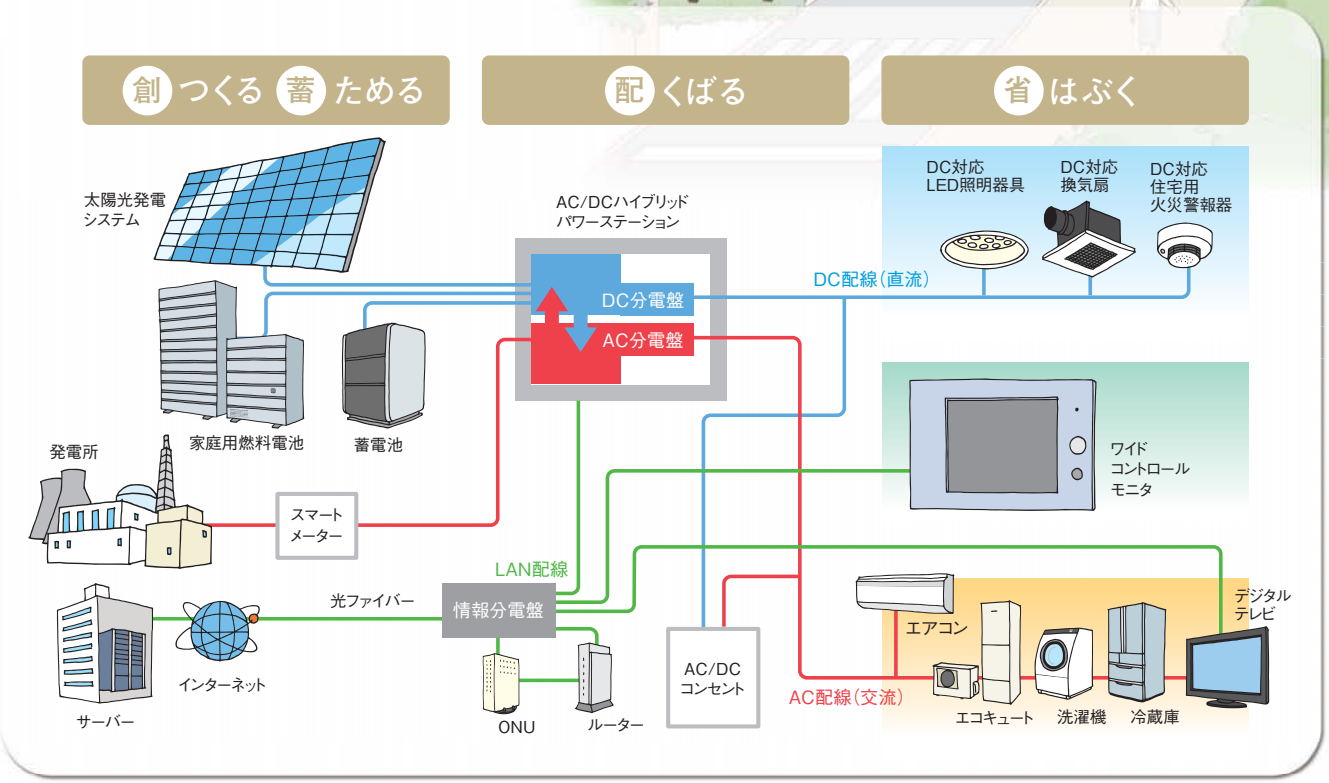
私たちは、家まるごと、ビルまるごと、街まるごとの「快適」と「エコ」をお届けしています。

家まるごと

AC/DCハイブリッド配線システム

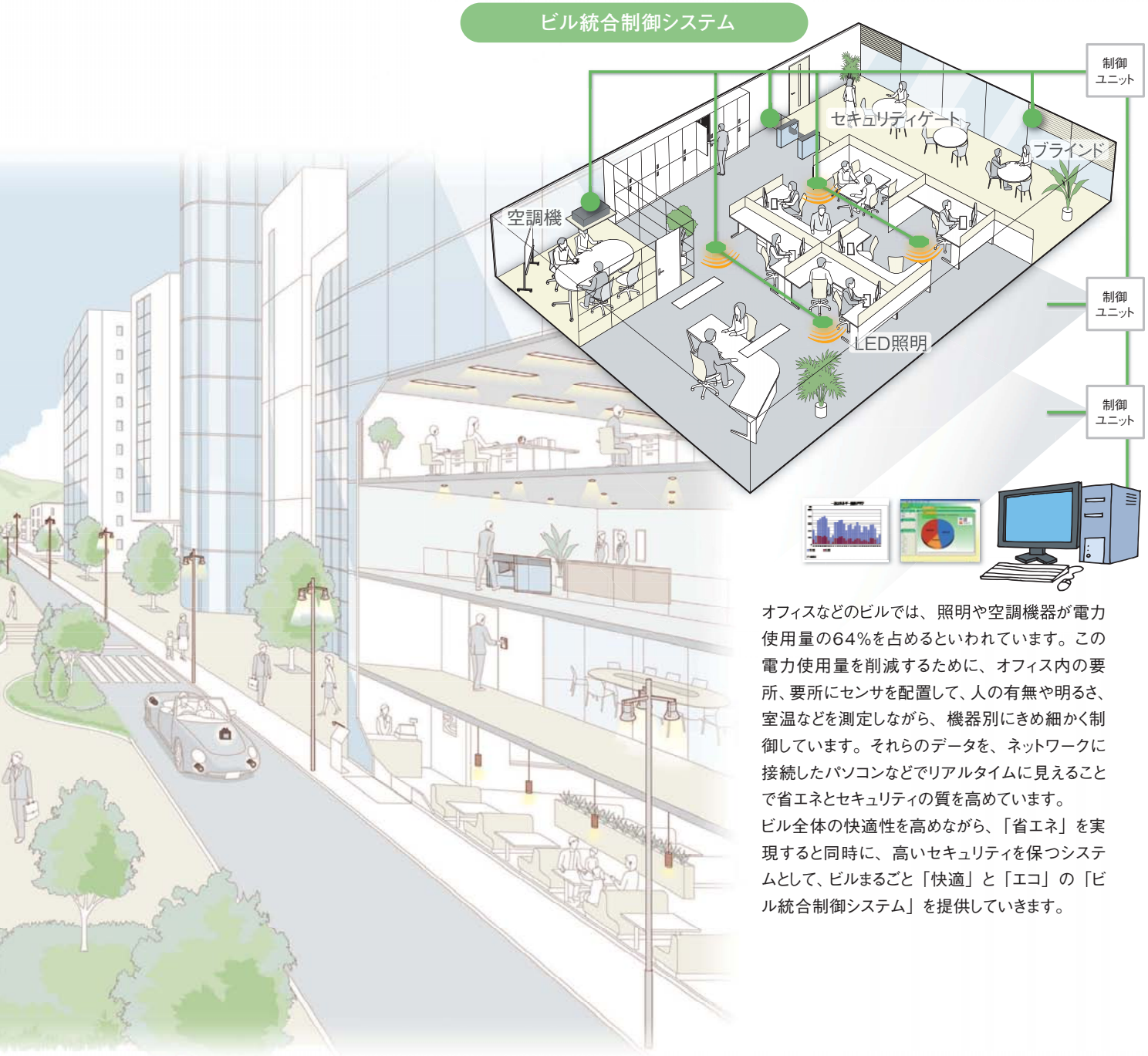
下図で、左側には電力を「創る」「蓄える」ための「太陽光発電」「蓄電池」を示し、右側には、従来品と比較して快適さを損なうことなく、省エネを飛躍的に高めた個々の家庭用機器である「照明」「TV」などを示しています。そして中央には、電力会社から送られた電力と、家庭で「創る」「蓄えた」電力を、省エネ機器に最も効率的に配り、コントロールをする「分電盤」や、電気を取り出すための「コンセント」が設置されています。

快適を損なわずにエコを高めるためには、電力会社から交流（AC）で送られてきた電力に加え、太陽光発電などで創られた直流（DC）の電力を、家庭内のACで動作するもの、DCで動作するものなど、混在している機器に最適化しながら効率よく配電することが必要です。機器の特性にあわせてAC/DCを賢く使いこなすために、機器の情報を集め、省エネのために機器をコントロールするシステムで家まるごと「快適」と「エコ」を狙った「AC/DCハイブリッド配線システム」を提案しています。



ビルまるごと

ビル統合制御システム



オフィスなどのビルでは、照明や空調機器が電力使用量の64%を占めるといわれています。この電力使用量を削減するために、オフィス内の要所、要所にセンサを配置して、人の有無や明るさ、室温などを測定しながら、機器別にきめ細かく制御しています。それらのデータを、ネットワークに接続したパソコンなどでリアルタイムに見えることで省エネとセキュリティの質を高めています。
ビル全体の快適性を高めながら、「省エネ」を実現すると同時に、高いセキュリティを保つシステムとして、ビルまるごと「快適」と「エコ」の「ビル統合制御システム」を提供していきます。

街まるごと

スマートグリッドの実現に向けて

これまでは大規模発電所（火力、原子力など）から一方的に電力の供給を受けていましたが、家庭で創った太陽光発電などの電力もあわせて双方向で融通しあうことで、さらに効率よく電力を供給し、使用することができます。このような仕組みはスマートグリッドと呼ばれ、多くの国々で検討が進んでいます。スマートグリッド化を進めることで、地球温暖化の原因となるCO_2の発生を抑えることが期待されています。

当社はデンマークで、電力会社のSEAS-NVE社、パナソニック社と共同で、スマートグリッド・スマートメーターと連携した実証実験を2009年12月から実施しています。今後も、エリア照明制御などを行うことで、街まるごと「快適」と「エコ」を実現し、持続可能な社会の発展に貢献していきます。

主な活動と目標

重点テーマ			2009年度目標 ( )内は2008年度実績	2009年度実績	自己評価
環境	商品	グリーンプロダクツ(GP)販売比率 GP:右欄参照	64%以上	66.3%	😄
		省エネ商品使用時省エネ量	前年度比 4%増	前年度比 12.3%増	😄
	工場	クリーンファクトリー(CF)認定率 (グローバル製造部門) CF:右欄参照	85%以上	98%	😄
		CO_2排出量 (グローバル製造部門)	38.5万t-CO_2未満	37.4万t-CO_2	😄
		環境事故件数 (グローバル製造部門)	0件	0件	😄
		廃棄物(有価物含む)発生量原単位 (グローバル製造部門)	2000年度比 18%減	2000年度比 13.4%減	☹
		水使用量原単位(製造部門2000年度比)	国内39%減 国外63%減	37.8%減 57.6%減	☹
		重点化学物質排出移動量 (グローバル製造部門)	2005年度比 8%減	2005年度比 53%減	😄
お客様	品質	ISO9001認証取得率 (単体製造部門)	100%	100%	😄
		製品安全リスクアセッサー人員 (設計部門) 製品安全リスクアセッサー:右欄参照	(99名)	148名	😄
	お客様対応(CS)	アフターサービス部門の顧客満足度	80ポイント以上	80ポイント	😄
		啓発講座受講者数	5,500名以上	5,728名	😄
	ユニバーサルデザイン(UD)	UD認定商品数(累積)	(120商品)	135商品	😄
従業員	労働安全衛生	災害発生度数率(100万時間単位) (単体)	(0.06)	0.00	😄
	ワーク・ライフ・バランス	社員一人当たりの労働時間効率化	50時間減/年	50時間減/年	😄
	ダイバーシティ	役職者における女性比率	1.30%	1.30%	😄
		外国籍社員数	45名	51名	😄
		障がい者雇用率	2.4%台維持	2.31%	☹
調達先	下請法	監査事業場数(事業場間相互監査、本社監査)	55事業場	55事業場	😄
地域・社会	企業市民	社会貢献活動支出額	(約7億7,700万円)	約8億5,300万円	😄
マネジメント	コンプライアンス	倫理リーダー数(累積)	(約1,900名)	約2,200名	😄
	情報セキュリティ	情報セキュリティe-learning参加率(連結会社含む)	100%	100%	😄

冊子でご紹介できる内容は限られています。さらに幅広く、詳細な活動については、Webサイトをご覧ください。

自己評価について 大きく推進・改善できた 推進したが目標に未達
（2009年度：2009年4月1日から2010年3月31日）

内 容	2010年度以降の計画 （数値は2010年度の目標）
省エネ・省資源・クリーンに配慮し、業界トップレベルの環境性能を持つ商品をグリーンプロダクツ（GP）と定義。その販売比率の向上に取り組んでいます。	66%以上
当社省エネ商品をお客様がご利用いただいたことで削減できたエネルギー量を集計。その増大を図っています。	前年度比4%増
各工場のCO_2排出量や廃棄物、化学物質などの一定基準をクリアした工場をクリーンファクトリー（CF）として認定する制度を実施。認定率の向上に取り組んでいます。	新制度：グリーンファクトリー（GF） アセスメント制度に移行
地球温暖化原因物質の一つであるCO_2排出量の削減をグローバルで進めています。	グローバルでは38.2万t-CO_2未満 国内は1990年度比24%削減
環境事故ゼロの継続に努めています。	0件の継続
市況悪化による生産高減少の影響で原単位は目標未達。生産ロス削減などにより、さらなる廃棄物の削減を図ります。	前年度比2.5%減
生産高の減少により原単位は目標未達。生産設備の冷却水を循環方式に変更するなどにより、水使用量の削減に努めます。	グローバルで前年度比0.5%減
化学物質による環境リスク低減のため、重点的に削減すべき物質を選定し、その排出・移動量の削減に取り組んでいます。	2005年度比10%減
品質マネジメントレベルのさらなる向上をめざしています。	100%の継続
製品安全上のリスクを広い視野で事前に抽出・低減できる人材（製品安全リスクアセッサー）の育成に努めています。	製品安全リスクアセッサーの人員拡充・能力向上
アフターサービスを受けていただいたお客様を対象に、外部調査機関によるヒアリング調査を年1回実施し、満足度を評価しています。	今後も顧客満足度の向上に努めます。
全国の市町村で開催される消費者向けの啓発講座に当社社員を講師として派遣し、“省エネ”“快適”“安全”などをテーマに無料で講演しています。	6,000名以上
社内基準をクリアした「UD配慮商品」の中でも、業界初またはトップレベル商品を、社内外のUD専門家による審査を経て「UD認定商品」と位置づけています。	UDのグローバル化を推進します。
災害発生件数の根絶に努めています。これまで発生した災害の原因や状況などを蓄積・公開し、類似災害の防止に努めています。	安全風土を根付かせ、「ゼロ災」「危険ゼロ」に努めます。
「シゴトダイエットプロジェクト」や「労使JIKAN取り組み」などの活動により、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて労働時間の効率化を進めています。	さらに仕事の効率化と年休取得を促進し、一層のワーク・ライフ・バランスの実現をめざします。
女性の活躍を促進するため、積極的に女性リーダーの育成を図っています。	1.40%
外国籍社員の活躍を進めるため、職場の環境整備を進めています。	61名
法定雇用率（1.8%）を上回る障がい者の雇用率確保を進めています。	2.4%台
事業場同士の相互監査と本社監査を行い、取引適正化に努めています。	今後も全事業場を対象に 相互監査と本社監査を推進します。
環境保全や次世代教育支援、メセナ活動と各地での労使共催ボランティア活動を行っています。被災地支援も実施しています。	今後も継続した活動を行います。 目標値：左記活動支出額を税引き前利益の1%以上
コンプライアンス意識向上のため各職場に倫理リーダーを配置し、全社レベルの底上げを図っています。	連結会社も含め、コンプライアンス意識の醸成に努めます。
情報セキュリティ管理レベルの向上に向け、従業員対象のe-learningを実施しています。	100%

～環境への取り組み～ 温暖化防止への貢献

Web ＞ CSR/社会・環境 ＞「環境への取り組み」
http://panasonic-denko.co.jp/corp/csr/environment/

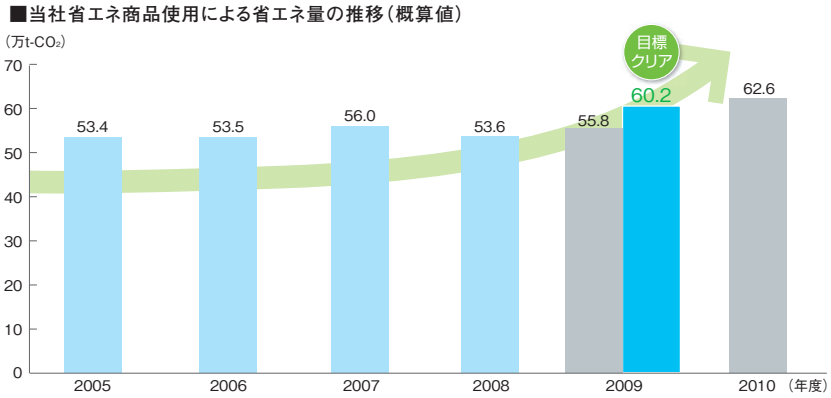
本社構内のビオトープ

省エネ商品による温暖化防止への貢献

Web ＞ CSR/社会・環境 ＞「環境への取り組み」＞「環境・プロダクツ&サービス」＞ 省エネ商品による温暖化防止への貢献
http://panasonic-denko.co.jp/corp/csr/environment/02/10.html

省エネ商品の開発と普及に努め、お客様がご使用になる際のエネルギーを削減することで温暖化防止への貢献を図っています。「当社省エネ商品使用による省エネ量」を評価指標として毎年、前年度比4%増加を目標に、省エネ技術に磨きをかけ、優れた省エネ商品を創出していきます。今後は商品によるCO_2削減貢献量を新たな指標※1として追加し目標管理していきます。

■当社省エネ商品使用による省エネ量の推移（概算値）



当社省エネ商品使用による省エネ量
目標値

〈省エネ量算出方法について〉
- （代表品番1台あたりの省エネ量）×（年間販売量）×（年間想定使用時間）
- 電力CO_2換算係数は、0.39kg-CO_2／kWhを使用

出典：環境省発表資料「家庭からの二酸化炭素排出量算出用 排出係数一覧」（平成18年6月）

※1 新たな指標の詳細内容についてはWebサイトをご覧ください
Web ＞ CSR/社会・環境 ＞「環境への取り組み」＞「環境・プロダクツ&サービス」＞ 商品によるCO_2削減貢献量
http:// panasonic-denko.co.jp/corp/csr/environment/02/17.html

実践例

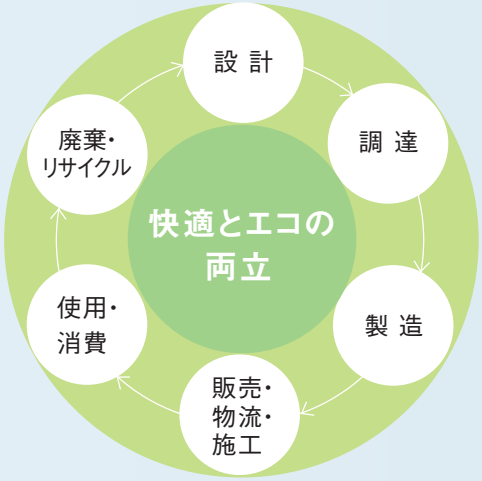
阪急電鉄 新駅「摂津市駅」 日本初のCO_2排出ゼロ駅（カーボン・ニュートラル・ステーション）にLED照明器具で貢献

〈お客様のコメント〉

駅舎全体で349台のLED照明器具を採用しました。LED照明の他にも、さまざまな環境への取り組みにより、駅に起因するCO_2排出量を約51%削減する予定です。そのうち約13%がLED化によるものと試算しています。長寿命であるため、危険を伴ったホームや高所の取り替え回数を減らせること、さらには虫をあまり寄せつけないこともLED照明器具のメリットと感じています。今後は、こうした駅舎でのLED照明が促進されることを期待しています。

阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部
村井 孝明様（左） 中野 正也様（右）

摂津市駅プラットフォーム



「環境革新企業」をめざして

事業活動の基軸を環境に置き、商品のライフサイクル全体で温室効果ガス削減への貢献、資源循環の促進、生物多様性への配慮に取り組みながら、快適とエコが両立する商品・サービスの提供を進めます。

重点課題

右記3項目を重点課題としていますが、ここでは、特に地球温暖化防止（温室効果ガス削減）への貢献に関する取り組みをご紹介します。

温室効果ガス削減への貢献

資源循環の促進

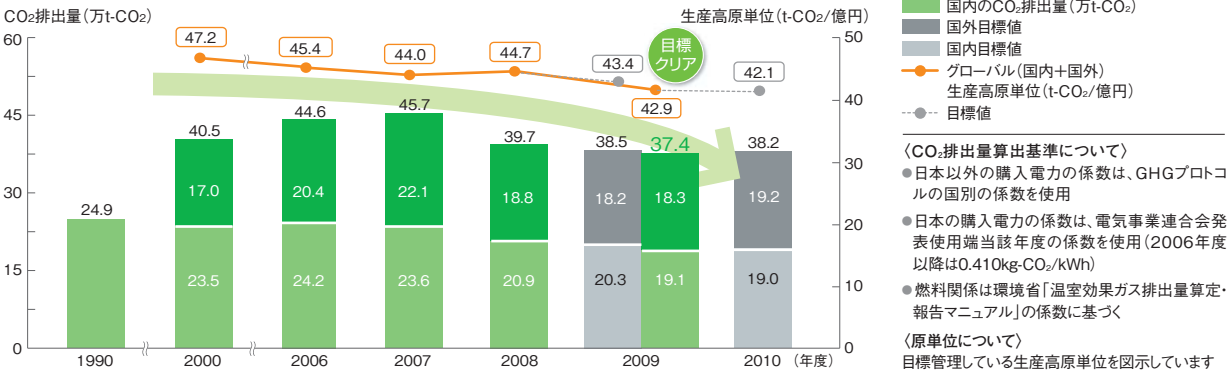
生物多様性への配慮

製造部門におけるCO_2排出量削減

Web ⌂ ＞ CSR/社会・環境 ＞「環境への取り組み」＞「環境・ファシリティ」＞ 製造部門における地球温暖化防止
http://panasonic-denko.co.jp/corp/csr/environment/03/02.html

2009年度は全事業場におけるエネルギー見える化活動により、ムダ要素の発見と徹底削減、エア漏れ徹底削減などに取り組んだ結果、目標を達成することができました。2010年度は生産増が見込まれていますが、省エネ活動の展開によりCO_2排出量の目標を38.2万t-CO_2とします。さらに生産活動によるCO_2削減貢献量を新たな指標※2として追加し、目標管理していきます。

■CO_2排出量と生産高原単位の推移



〈CO_2排出量算出基準について〉
- 日本以外の購入電力の係数は、GHGプロトコルの国別の係数を使用
- 日本の購入電力の係数は、電気事業連合会発表使用端当該年度の係数を使用（2006年度以降は0.410kg-CO_2/kWh）
- 燃料関係は環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」の係数に基づく

〈原単位について〉
目標管理している生産高原単位を図示しています

※2 新たな指標の詳細内容についてはWebサイトをご覧ください
Web ⌂ ＞ CSR/社会・環境 ＞「環境への取り組み」＞「環境・ファシリティ」＞ 生産活動によるCO_2削減貢献量
http://panasonic-denko.co.jp/corp/csr/environment/03/13.html

実践例 パナソニック電工蘇州 ハード・ソフト両面での省エネ活動を展開

高効率インバータスクリューチラー

〈担当者のコメント〉

冷却空調設備の冷凍機を電気式高効率設備（インバータスクリューチラー）に更新するとともに、ファン、ポンプのインバータ化など設備面の改善を行いました。さらに各部署に省エネ推進担当を設置し、省エネパトロール活動などを行い、従業員全体への省エネ意識浸透を図りました。その結果、2009年度は前年度と比較して1,042t-CO_2（4.8%）削減できました。

省エネパトロール 多層設備課
隊長:万継紅

～お客様への取り組み～
商品を快適にお使いいただくために

Web ＞ CSR/社会・環境 ＞「お客様への取り組み」
http://panasonic-denko.co.jp/corp/csr/customer/

お客様とのダイアログ

お客様のさまざまな声を活かした積極的な改善活動

Web ＞ CSR/社会・環境 ＞「お客様への取り組み」＞ CS活動
http://panasonic-denko.co.jp/corp/csr/customer/02/01.html

80万件／年
のご意見が、さまざまな改善活動に繋がっています

収集
お客様の声情報を活用し集計、全社員へ発信

VOC※3を活用し、商品別のご意見、ご要望を調査

分析
商品ごとに、原因分析・改善策検討

原因の分析、改善すべき対策を検討

改善
問題点を抽出し改善

- カタログの改善
- Webサイトの改善
- 取扱説明書の改善
- 商品の改善
- お問合せの対応改善
- 啓発講座開催

など

検証
改善後の商品、カタログ・取扱説明書などについて、実際にお客様から率直なご意見をいただき検証

用語解説

※1 CQF
Customer First（お客様第一）とQuality First（品質第一）を組み合わせた、当社独自の用語。

※2 CS
Customer Satisfaction（顧客満足）の略。

※3 VOC
Voice of Customer（お客様の声）の略。お客様からのご質問やご意見などの生の声をデータベースに蓄積した上で、テキストマイニングという技術を使ってその傾向や変化を分析・検索できるシステム。

※4 品質評価技術開発
お客様の使用方法や使用環境などを定量化し、当社製品の信頼性や耐久性などを把握する技術開発。

ケーススタディ

お客様との直接対話（ダイアログ）による検証

2009年度は、新しい取り組みとして取扱説明書についてダイアログを行い、「わかりやすい」「読みやすい」「操作ができる」をお客様に直接ご確認いただき、内容を改善しました。他に「商品の使いやすさ」「ショウルーム活動」「お客様対応」についてのダイアログも実施しています。

成果 「読みやすい」「わかりやすい」取扱説明書

改善前 一緒に読むと便利なページが分かれて掲載されていました。

＋

改善後 お客様のご意見をもとに、ページを統合し、わかりやすく改善しました。

いつの時代も、「結局は品質（クオリティ・ファースト）」を信念に「社会や環境との調和」を図り、「需要家に最大の満足と安心」を提供し続けることを、私たちの究極の目標とします。

重点品質

経営ビジョン「真・お客様主義」実践のため、商品・サービスにおける品質と安心・安全の向上に取り組んでいます。その中核が、「CQF活動」※1です。「お客様対応品質の向上」と「商品品質の向上」を2本柱とした取り組みを実践しています。

CQF（Customer Quality First）

お客様対応品質
お客様との接点におけるCS向上
- CS※2マインド育成
- CSインフラ構築
- CS可視化

商品品質
商品トラブルの極小化と魅力ある品質づくり
- 安全品質
- ユニバーサルデザイン
- グリーンプロダクツ

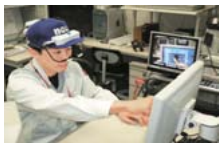
「使いやすさ」「ここち感」の感覚を科学的に追求

品質評価技術開発※4により使いやすさを可視化し、さまざまな検証を行っています。

楽な動作

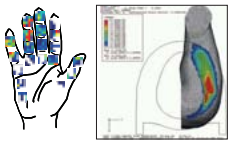
動作解析

わかりやすい操作



視線解析

ここちよさ



握り心地　座り心地

生体情報

皮膚温解析

ケーススタディ　シェーバーの握り心地研究 ～最も握りやすい形状を求めて～

圧力センサー付グローブで把持圧を計測

動作マーカーを装着し、その移動量をビデオで計測・解析

成果　使いやすく手になじむ「エルゴカーブデザイン」

『握り心地』の重要設計ポイントを明確化

感度の鈍い手のひらではなく、細かい制御が可能な指部にフィットすると握り心地が良い

使いやすく手になじむ形状のシェーバーへ
エルゴカーブデザイン

改善後のシェーバー形状
メンズシェーバー「ラムダッシュ」

充電インパクトドライバー

ヘアードライヤー「ナノケア」

この握り心地技術が応用され、当社の他の商品へも活かされています。

お客様への大切なお知らせ

松下電工（現パナソニック電工）製電気カーペット製品交換のお知らせ

当社が5年前までに製造した電気カーペットの一部の製品におきまして、温度コントローラ内部の部品が過熱し、コントローラケースに穴があいて周辺を変色または焦がす可能性があることがわかりました。

2010年1月25日に、リコール社告「松下電工（現パナソニック電工）製電気カーペット製品交換のお知らせ」を新聞および当社ホームページに掲載し、対象となる製品につきまして、事故防止のために無料で代替品と交換を実施させていただいております。

ご使用中のお客様におかれましては、誠に恐縮ではございますが、ご使用製品の品番のご確認をお願いいたします。

対象品番の場合は、下記の連絡先またはホームページ、あるいはご購入店までご連絡をお願いいたします。

ご愛用の皆様には大変ご迷惑をお掛けしますことを深くお詫び申し上げます。

なにとぞご理解とご協力をお願い申し上げます。

〈 ご連絡先 〉
パナソニック電工㈱
電器事業本部
電気カーペット市場対策室

フリーダイヤル
0120-550-703

専用アドレス
http://panasonic-denko.co.jp/hot-carpet/

クロスカルチャー&経営理念研修

～従業員への取り組み～
良き経営の根幹は人である

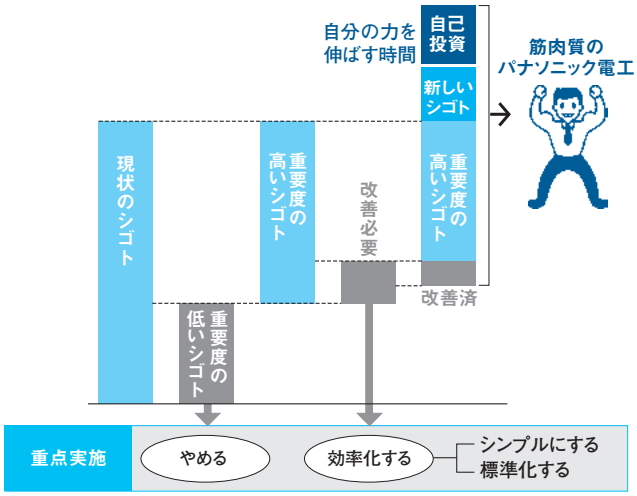
Web ＞ CSR/社会・環境 ＞「従業員への取り組み」
http://panasonic-denko.co.jp/corp/csr/employee/

シゴトダイエット活動で仕事の効率化を推進

Web ＞ CSR/社会・環境 ＞「従業員への取り組み」
＞ ワークライフバランス ＞「シゴトダイエット」による時短を推進
http://panasonic-denko.co.jp/corp/csr/employee/02/02.html

- 重要度が低い仕事を1人当たり年間50時間「減量」し、半分を自己啓発や家庭サービスに、残り半分を新しい仕事に充てることをめざす。
- 2008年4月より開始。

■シゴトダイエットプロジェクト：ありたい姿



〈実践者のコメント〉シゴトダイエットに取り組んで

西窪 秀彦
照明システム開発部

シゴトダイエットの活動の一環としてのテーマ・提案活動は、仲間の現状を聞けるとても有効な場です。みんなと話し合う場があると、一人で抱えていた悩みを吐き出すことができます。シゴトダイエット活動は、部内のメンバー同士でコミュニケーションが取れ、働き方を考える良いきっかけになります。

メンター制度で先輩のノウハウを伝授

- 上司（評価者）とは別に、希望する方と面談（事務局でマッチング）。仕事や今後のキャリアについて幅広い視点でコミュニケーションし、相互に学びあう。
- 期間は一年間で、頻度は自由。（概ね1回/月程度）
- 2009年9月より開始。

〈利用者のコメント〉メンター制度を活用して

メンティ（相談者）：新松 暁音（写真左）
首都圏住設建材営業部

同じ住建部門内でもなかなか面識を持てない上位職とのディスカッションで、仕事に関する新しいヒントや多角的なご指摘をいただき発想が広がりました。この制度によって、社内の意欲あるメンバーと交流を持つ機会ができ、人脈が広がったことを有難く思っています。今後もこの制度を活用し、また、社内にこの制度が広がることを希望しています。

メンター（支援者）：上林 順治（写真右）
住建商品営業企画部

実力がありながら「男性社会」で埋もれている女性にスポットを当てることができた。これからは女性の戦力をもっともっと活用していく時代。社内には意欲を持った女性がたくさんいるので、この制度をもっと広めて欲しい。

「良き経営の根幹は人である」の考え方のもと、「物を作る前に人をつくる」「物づくりと人づくりは車の両輪」とする創業以来の伝統を受け継ぎ、社員一人ひとりが“やりがいのある仕事”と“充実した私生活”を両立させながら、能力を最大限に発揮できる環境、風土づくりをめざします。

働きやすい職場	自己の成長 能力発揮	ダイバーシティ※1
ワーク・ライフ・バランス※2	学びあう組織	女性
シゴトダイエット	職能別・階層別研修	外国籍
安全衛生	メンター制度※3	障がい者

外国籍社員との「共育」で国際化風土を醸成

Web ＞ CSR/社会・環境 ＞ 「従業員への取り組み」 ＞ ダイバーシティマネジメント ＞ 内なる国際化の促進
http://panasonic-denko.co.jp/corp/csr/employee/01/03.html

- 2008年より日本語研修、2009年より上司と部下のペア参加でのクロスカルチャー研修を開始。
- 仕事に役立つビジネス日本語研修（当社用語を含む）、個別面談によるキャリア形成支援、経営理念の理解促進などを行う。
- 文化の違いや仕事の進め方の違いを、上司と共に理解し、信頼関係のある職場、さらに活躍できる環境づくりをめざす。

〈参加者のコメント〉クロスカルチャー&経営理念研修に参加して

M・マヌエラ
宣伝部

今日の研修は、とてもよかったと思います。大変勉強になり、今後仕事をしていく上で非常に大切なことだったと思います。外国人と日本人は、違うところも多いですが、「同じ人間同士」という意識でコミュニケーションをとっていけばうまくやっていけるのではないかと思いました。

杉野 壮（上司）
宣伝部

グローバルな方々と交流できたことが非常によかった。彼らの意識がよくわかり、何で悩んでいるかということを知ることができた。これからも彼らのよいところを見出してよいコミュニケーションを作っていきたい。

用語解説

※1 ダイバーシティ
直訳すると「多様性」。人間には性別、国籍、障がいの有無や内面の個性・価値観の違いまでさまざまな属性があり、それらすべて含めて「多様性」という。

※2 ワーク・ライフ・バランス
労働者が高い意欲を持って心身とも充実した状態で働き、仕事の成果を十分に発揮していけるようにするため、「仕事と私生活との両立」を重要視する考え方のこと。

※3 メンター制度
メンター（Mentor）とは、優れた指導者、信頼の置ける相談相手のこと。メンター制度とは、企業における「助言者制度」と訳される。キャリアプランや能力開発などについてアドバイスを行い、本人の向上心を育成する。相談者をメンティ、支援者をメンターと呼ぶ。

～地域・社会への取り組み～
良き企業市民として

Web ＞ CSR/社会・環境 ＞「地域・社会への取り組み」
http://panasonic-denko.co.jp/corp/csr/citizen/

小学校での「あかりのエコ教室」

本業を活かした次世代への教育

Web ＞ CSR/社会・環境 ＞「地域・社会への取り組み」＞ 教育
http://panasonic-denko.co.jp/corp/csr/citizen/02/

あかりのエコ教室

当社事業の1つである「照明」での省エネを小学生に出前授業でわかりやすく紹介。「白熱灯」「蛍光灯」「LED」の光るしくみを説明後、社員が手作りした手回し発電機や消費電力計での実験を通じて、各ランプの消費電力の違いを体感してもらいました。2009年度は、大阪・東京を中心に約1200名の小学生が受講しました。

LEDを使った行灯（あんどん）工作教室

LEDをより身近に知ってもらうために、LEDを使った行灯の工作教室を開催しました。和歌山県田辺市龍神村では、地元の杉の間伐材や山路紙と呼ばれる地元伝統の和紙を使い、地域の方との交流を行いながら、参加者が自分だけのデザインの行灯を手作りしました。

キャリア教育事例

中学生に、いろいろな商品を見学・体感しながらショウルームの仕事を理解していただきました。
高校生に、働くことの意義やおもしろさを、商品開発事例などを交えて伝える講演を行いました。

中学生の職場見学会

高校生への講演会

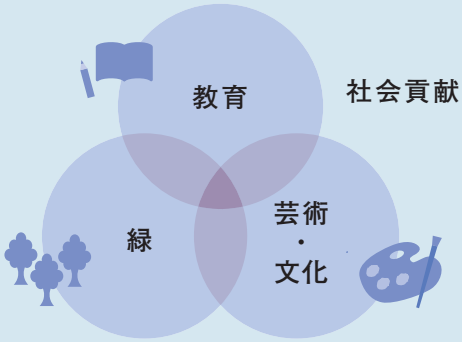
技術伝承事例

工業高校教員の研修

「良き企業市民」として「より良き社会」の実現をめざすことを基本方針に、緑、教育、芸術・文化を柱として社会貢献活動を推進しています。従業員の自覚と実践をサポートするとともに地域社会とのかかわりを大切にし、社会と共存共栄を図る企業文化・風土を醸成することをめざしています。

重点分野

右記3項目を重点に活動を行っていますが、ここでは、教育、緑に関する取り組みを中心に、地域社会とのかかわりをご紹介します。



社会貢献活動の柱

緑をきっかけに地域との交流

Web ＞ CSR/社会・環境 ＞「地域・社会への取り組み」＞ 緑
http://panasonic-denko.co.jp/corp/csr/citizen/03/

田辺市龍神村との交流

和歌山県の「企業の森」事業に2007年から参画し、2010年4月には4度目の植林を、田辺市龍神村の「ながきの森」にて、従業員と家族、OBなど約380名で行いました。2009年度は植林だけでなく、9月に下草刈り、11月には小学生への出前授業、地域のお祭りにて「工作教室」を開催し、さまざまな交流を行ってきました（左ページ参照）。今後も地元の方々と協力して、森林保全活動への支援と地域交流を図っていきます。

植林

下草刈り

富士山植林

琵琶湖葦刈り

各拠点特徴を活かした活動

Web ＞ CSR/社会・環境 ＞「地域・社会への取り組み」＞ 地域拠点の活動
http://panasonic-denko.co.jp/corp/csr/citizen/05/

育てた植物で環境学習会

●パナソニック電工施設照明

地元小学生と植物を育てながら年間を通じて交流し、環境学習や工場見学を行いました。刈り取った植物で紙漉きし、ハガキを作りました。

マングローブ植林

●パナソニック電工タイ

清掃活動を毎月実施

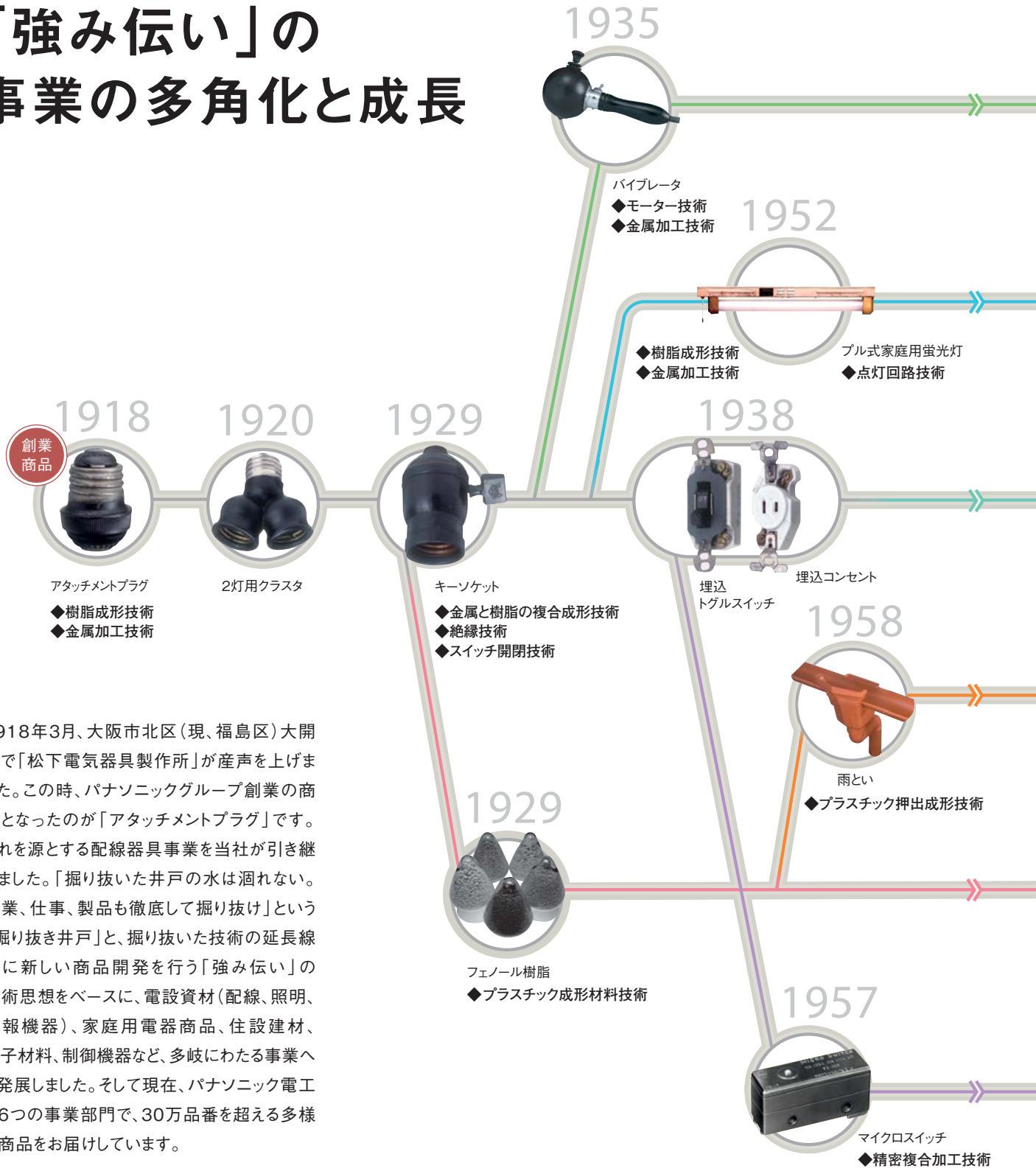
●パナソニック電工蘇州
●パナソニック電工電子材料蘇州

近隣地域の除雪作業応援

●パナソニック電工（新潟工場）

今回ご紹介した拠点や他の拠点では、この他にもさまざまな活動に取り組んでいます。引き続き、Webサイト等にて紹介いたします。

「強み伝い」の事業の多角化と成長



1918年3月、大阪市北区（現、福島区）大開町で「松下電気器具製作所」が産声を上げました。この時、パナソニックグループ創業の商品となったのが「アタッチメントプラグ」です。これを源とする配線器具事業を当社が引き継ぎました。「掘り抜いた井戸の水は涸れない。事業、仕事、製品も徹底して掘り抜け」という「掘り抜き井戸」と、掘り抜いた技術の延長線上に新しい商品開発を行う「強み伝い」の技術思想をベースに、電設資材（配線、照明、情報機器）、家庭用電器商品、住設建材、電子材料、制御機器など、多岐にわたる事業へと発展しました。そして現在、パナソニック電工は6つの事業部門で、30万品番を超える多様な商品をお届けしています。

納入事例

韓国 新世界百貨店 CENTUMCITY

新千歳空港

事業紹介

電器事業

メンズシェーバー「ラムダッシュ」

マッサージソファ

ナイトスチーマー「ナノケア」

電動工具「スリモ」シリーズ

家電分野における「美容」「健康」「充電工具」を事業領域とし、世界中のお客様のココロとカラダ、そしてくらしをイキイキとさせるための商品・サービスの創出を行っています。

照明事業

LED照明
「エバーレッズ」

Wエコ 環境配慮型照明器具

屋外向け照明器具
「エバーライト」

病害防除システム
「タフナレイ」

世界トップレベルの照明器具メーカーとして、住宅や施設、店舗、屋外などあらゆる市場に商品を提供しています。特に近年は、環境配慮や快適な空間演出などの社会トレンドに対応した高付加価値事業を積極的に展開しています。

情報機器事業

「ライフィニティ
ECOマネシステム」

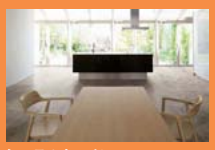
住宅用火災警報器

多回路エネルギーモニタ

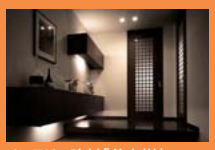
配線器具

配電設備からスイッチ、コンセントに至るまでの電気設備や、省エネマネジメントシステム、セキュリティ（防犯・防災）設備、ネットワーク配線システムなど、住宅やビルの電気・情報にかかわるインフラ設備を提供しています。

住設建材事業


システムキッチン
「リビングステーション」

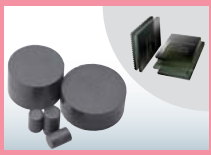
全自動おそうじトイレ
「アラウーノ」

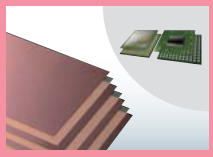

インテリア建材「美奏樹」

エコキュート

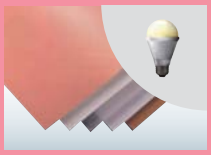
新築・リフォームの両市場で、水廻り商品、内装・収納商品、外装材、さらにはオール電化商品まで、住宅設備・建材を総合的に提供しています。

電子材料事業


半導体封止材
「ECOM Eシリーズ」

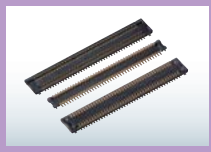

電子回路基板材料
「MEGTRON GXシリーズ」

フレキシブル基板材料
「FELIOSシリーズ」


ガラスコンポジット基板材料
「ECOOL（エクール）」

デジタル家電、携帯電話、通信ネットワーク機器、パソコン、自動車など、快適なくらしを実現する電子機器の機能性と信頼性を支える電子材料をグローバルにお届けしています。

制御機器事業


狭ピッチコネクタ

車載用B&C
（バック&コーナー）センサ

車載用EVリレー

エコパワーメータ

制御部品、Factory Automation（FA）機器、車載デバイスなどの小型化・省力化・信頼性を支えるデバイスとコンポーネントをグローバルに提供しています。

国立国会図書館

ヤマハ銀座ビル

東京農工大学

代表的な商品紹介

快適とエコの両立を実現するLED照明

EVERLEDS
エバーレッズ

Web ＞ 商品情報［法人］ ＞ 住宅・建築設備 ＞ 照明・電気設備のEbox ＞ EVERLEDS
http://denko.panasonic.biz/Ebox/everleds/

コンセプトは「FOREVER＝永遠」、
永遠に成長し続けるあかり、LED。
「より明るく」「よりコンパクトに」「より長寿命に」
そして「永遠に美しい地球を」そんな思いが
ここに託されています。
EVERLEDSは、快適でエコなあかりを実現します。

業界トップクラス、約1,100品番の品揃えで、お客様のニーズに合わせたきめ細やかな提案を実現

LED照明の普及拡大が期待される今日、当社は照明メーカーならではの商品開発力をもとに、快適とエコを実現するLED照明EVERLEDS（エバーレッズ）の新商品を2010年より順次発売し、LED照明器具全体で合計約1,100品番品揃えしました。
この充実した商品力（ハード）を背景に、当社は独自の明るさ感指標「Feu（フー）※」（ソフト）を組み合わせた空間提案を推し進めています。たとえば「あかりの組み合わせ」と「あかりの灯し方」を提案する「シンフォニーライティング」は、必要以上にあかりを灯さず、優れた省エネを実現します。

※明るさ感指標「Feu（フー）」は、「空間の明るさ感」を数値で定量的に表現することができる当社独自の指標。

住宅用センサー体型
「LED FreePa ダウンライト」

住宅用「LEDダウンライト（HomeArchi）」

コンパクト・ハイパワーな店舗用
「LEDスポットライト」

高効率「LED ベースライト ストレートタイプ」

東京スカイツリー®
ライティング機器のパートナー企業にパナソニック電工が決定しました。

ライティングデザインのオールLED化をめざして、パナソニック電工はタワー専用LED照明器具の開発を進めています。

2012年春に開業予定の東京の新しいランドマーク「東京スカイツリー®」は、自立式電波塔としては世界一※1となる高さ634メートルのタワーです。当社は、LED照明事業における実績に加え、光の色を忠実に再現する「高精度色再現技術」、TV局のスタジオやビルなどを演出する「調光技術」、効率的な器具開発を実現する「3次元解析技術」などが評価され、東京スカイツリーライティング機器のパートナー企業に選ばれました。現在、タワーのライティングデザインのオールLED化※2をめざして、タワー専用LED照明器具の開発を進めています。当社の持つ最先端の技術を駆使することにより、省エネルギーと美しさが両立した、地域のシンボルとなるライティングデザインへの貢献をめざします。

※1：2010年3月1日現在　※2：ライトアップ用照明器具のみ

「東京スカイツリー®」の2つのライティングデザイン

タワーの建設地は、江戸文化の継承地であり、東京発展の基礎を築いた街。ライティングでは、江戸で育まれてきた心意気を表現した「粋」（写真左）と、美意識を表現した「雅」（同右）という2つの照明パターンで、1日ごとに交互に表現します。

●東京スカイツリー®
《事業主体》東武タワースカイツリー株式会社　《設計・監理》株式会社日建設計
《照明コンサルタント（デザインシミュレーション）》有限会社シリウスライティングオフィス
《施工》株式会社大林組　《開業予定》2012年春

写真提供：東武鉄道株式会社・東武タワースカイツリー株式会社

省エネ・省資源に配慮した照明器具の豊富なラインナップ

Wエコ 環境配慮型照明器具

Wエコ 環境配慮型照明器具
2灯分の明るさを1灯で実現。「省エネ」&「省資源」の次世代スタンダード。

EVERLIGHT

無電極放電灯「エバーライト」
人にも地球にも配慮したあかり。長寿命・高効率を追求。

進化するパナソニックキッチン Living Station

Web ＞ 商品情報［個人］ ＞ 住まいの設備と建材 ＞ システムキッチン ＞ リビングステーション
http://sumai.panasonic.jp/kitchen/living-station/

料理も、おそうじも、
収納も、テキパキはかどる。
くらしにゆとりが生まれるキッチン、
それが「リビングステーション」。

Living Stationの4つのコンセプト

1. テキパキ料理
スムーズな動線で料理がはかどる、新しい調理スタイル。

2. おそうじラクラク
形状・素材・表面加工で、おそうじラクラクの清潔キッチン。

3. かしこい収納
空間を有効活用。適材適所の高効率収納。

4. 選べる楽しさ
調理スタイルや好みに合わせて、機能やデザインを最適コーディネイト。

テキパキ トリプルワイドIH

IH 手前のスペースで、テキパキ調理がはかどる 使い心地の良さがポイント

- 3 つの鍋がゆったり置ける
- IH 手前のスペースが広びろ
- 2 人並んでの料理も快適

省エネ性が高く環境にも配慮したオール電化のくらし

給湯システムからキッチンまわりの調理関連器具、空調・暖房設備まで、すべてを電気でまかなうくらし。オール電化で快適なくらしが実現します。

《給湯》エコキュート
入浴検知センサー新搭載で、さらに省エネ。

住宅用太陽光発電システム
温室効果ガスを出さずに、わが家の電気をお日さまでつくります。

《暖房》電気床暖房
足下からぽかぽか。部屋の空気もクリーンです。

空気で新しい快適を創る 水の微粒子イオン

nanoe ナノイー

Web ＞ 会社情報 ＞ 経営の考え方 ＞ 「快適」と「エコ」を両立する取り組み ＞ 帯電微粒子水「nanoe（ナノイー）®」にできること
http://panasonic-denko.co.jp/corp/philosophy/torikumi/nano2/

「ナノイー」発生デバイス

「ナノイー」とは、パナソニック電工独自の技術で発生させたナノサイズ「帯電微粒子水」。この電気を帯びた微細な水の粒子が、さまざまな物質に作用して、より快適な環境づくりに大きな力を発揮します。

たとえば「ナノイー」で、うるおい美肌 ナイトスチーマー「ナノケア」

転倒しにくく愛らしい球体フォルム

- 「潤風スチーム」と「ナノイー」のダブル機能で、肌のうるおいをキープし、ツヤのある髪へ。

［ベッドサイドに置くだけ］
ベッドサイドに置いてスイッチを入れるだけで、寝ている間にしっかりお肌へうるおいを補給します。
①就寝前にスイッチオン――潤風スチームがゆっくり浸透し、うるおいを補給
②約20分後、自動で「ナノイー」運転切替――「ナノイー」がおやすみ中の肌と髪にうるおいをキープ

［おやすみ中に配慮した機能］
○横転自動OFF機能　○空焚き検知機能　○8時間自動OFFタイマー

ますます広がる「ナノイー」のあるくらし 快適環境に貢献するナノイー技術

住まいのなかで
空気環境が気になる住宅設備で活躍する、ナノイー技術

「ナノイー」搭載空気循環パネル「エアロウォッシャー」

「ナノイー」搭載食品庫「根菜キーパー」

クルマのなかで
クルマに採用された、ナノイー技術とLED照明技術一体型ユニット

車載用「ナノイー」デバイス・LED照明一体型ユニット
女性を主なターゲットとして開発されたトヨタ「パッソ」とダイハツ「ブーン」に、「ナノイー*ドライブシャワー」の商品名で採用されました。
写真提供：トヨタ自動車株式会社

グローバルネットワーク

「アジアを代表する『快適&エコ』のグローバル企業」をめざして、世界中で事業を展開しています。

パナソニック電工グループは、日本、中国・北東アジア、アジア・中近東・アフリカ・オセアニア、アメリカ、ヨーロッパの5極体制で事業を展開。100カ国以上のお客様に当社グループの幅広い商品展開によって快適な生活をお届けしています。今後は、AC&I（アジア、中国、インド）市場を中心に、現地での商品企画・開発機能を強化して、ますます多様化するニーズに応えていくことにより、グローバルな成長をめざします。

パナソニック電工ヨーロッパ株式会社（ドイツ）

欧州

製造会社 11
販売会社 9
その他会社 1
21社

主要な連結会社

パナソニック電工フォスロ・シュワーベ有限会社
（ドイツ／照明部品の製造、販売）

パナソニック電工電子材料ヨーロッパ有限会社
（オーストリア／電子回路基板材料の製造、販売）

パナソニック電工ヨーロッパ株式会社
（ドイツ／制御機器等の製造、販売）

パナソニック電工住宅設備株式会社 幸田工場（日本）

アンカー エレクトリカルズ株式会社 ハリドワール工場（インド）

アジア・中近東・その他

製造会社 9
販売会社 9
その他会社 1
19社

主要な連結会社

パナソニック電工・ゴーベル インドネシア株式会社
（インドネシア／照明器具の製造、販売）

パナソニック電工タイ株式会社
（タイ／美・理容器具、制御機器の製造、販売）

パナソニック電工アユタヤ株式会社
（タイ／成形材料、半導体封止材、電子回路基板材料、照明器具、配線機器の製造、販売）

パナソニック電工アジアパシフィック株式会社
（シンガポール／制御機器、電子材料、電気機械器具の販売）

アンカー エレクトリカルズ株式会社（インド／配線機器の製造、販売）

パナソニック電工電子材料蘇州有限公司（中国）

中国・北東アジア

製造会社　23
販売会社　9
その他会社　2
34社

主要な連結会社

パナソニック電工北京有限公司（中国／照明器具、配線機器、健康器具の製造、販売）
パナソニック電工・万宝電器広州有限公司（中国／美・理容器具の製造、販売）
パナソニック電工電子材料蘇州有限公司（中国／電子回路基板材料の製造、販売）
パナソニック電工電子材料広州有限公司（中国／電子回路基板材料の製造、販売）
パナソニック電工控制装置北京有限公司（中国／制御機器の製造、販売）
パナソニック電工中国有限公司（中国／電気機械器具、制御機器等の販売）
パナソニック電工電子材料台湾株式会社（台湾／電子回路基板材料の製造、販売）

ULTホールディングス株式会社 メキシコ工場（メキシコ）

米州

製造会社　3
販売会社　2
その他会社　2
7社

主要な連結会社

パナソニック電工アメリカ株式会社
（アメリカ／制御機器、照明部品の製造、販売）
ULTホールディングス株式会社
（アメリカ／照明部品の製造、販売）

パナソニック電工グループ

パナソニック電工株式会社

本社（大阪府）
東京本社（東京都）

工場（8）
新潟工場（新潟県／照明器具）
茨城工場（茨城県／配管機材）
津工場（三重県／配線機器、防災・防犯機器）
伊勢工場（三重県／制御機器）
彦根工場（滋賀県／美・理容器具、健康機器）
米原工場（滋賀県／雨樋）
栗東工場（滋賀県／雨樋）
久留米工場（福岡県／整水器、ポンプ）

研究所（9）
新規商品創出技術開発部
先行技術開発研究所
生産技術研究所
電器R&Dセンター
照明綜合技術センター
情報機器R&Dセンター
住建綜合技術・商品開発センター
電子材料R&Dセンター
制御技術応用研究所

本社（大阪府）

東京本社（東京都）

主要な国内連結子会社

製造分野

パナソニック電工施設照明株式会社（大阪市／照明器具）
パナソニック電工インテリア照明株式会社（三重県／照明器具）
パナソニック電工建装照明株式会社（大阪府／照明器具）
パナソニック電工電路株式会社（愛知県／電路機器）
パナソニック電工東海株式会社（三重県／HA機器）
クボタ松下電工外装株式会社（大阪市／屋根材、外装材）
パナソニック電工群馬株式会社（群馬県／木質床材）
パナソニック電工住宅設備株式会社（栃木県／水まわり設備）
パナソニック電工郡山株式会社（福島県／電子回路基板材料）
パナソニック電工四日市株式会社
（三重県／成形材料、電子回路基板材料、半導体封止材）
サンクス株式会社（愛知県／制御機器）
パナソニック電工帯広株式会社（北海道／制御機器）
他27社

販売分野・サービス分野・エンジニアリング分野等

福西電機株式会社（大阪市）
パナソニック電材システム株式会社（東京都）
石垣電材株式会社（札幌市）
パナソニック電工リビング首都圏・関東株式会社（東京都）
パナソニック電工リビング近畿株式会社（大阪市）
パナソニック電工リビング東海株式会社（名古屋市）
パナソニック電工AWE株式会社（札幌市）
パナソニック電工制御株式会社（東京都）
パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社（大阪市）
パナソニック電工テクノサービス株式会社（大阪府）
パナソニック電工エンジニアリング株式会社（大阪市）
パナソニック電工ホームエンジニアリング株式会社（大阪市）
他47社

2010年4月現在

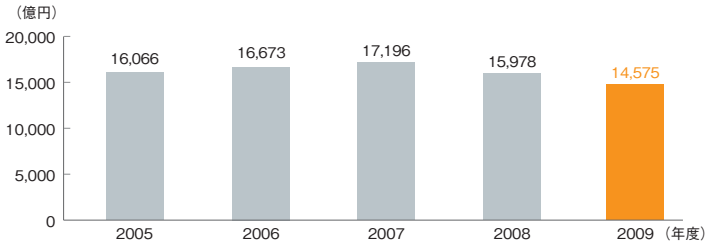
パナソニック電工グループの概要、主な社外評価

会社概要・業績

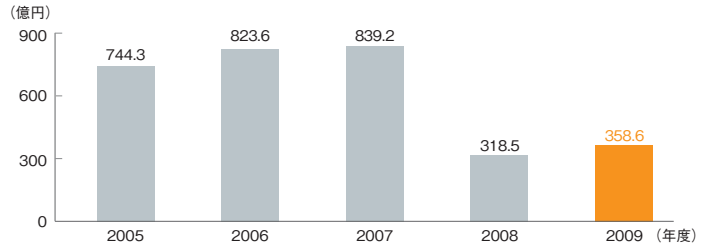
社　名	パナソニック電工株式会社（Panasonic Electric Works Co., Ltd.）
創　業	1918年3月7日（大正7年）
設　立	1935年12月15日（昭和10年）
決算期	3月31日
本社所在地	〒571-8686　大阪府門真市大字門真1048番地 TEL（06）6908-1131（代表）
東京本社所在地	〒105-8301　東京都港区東新橋一丁目5番1号 TEL（03）6218-1131（代表）
資本金	1,485億円※
従業員数	連結　56,103名※

※2010年3月31日現在

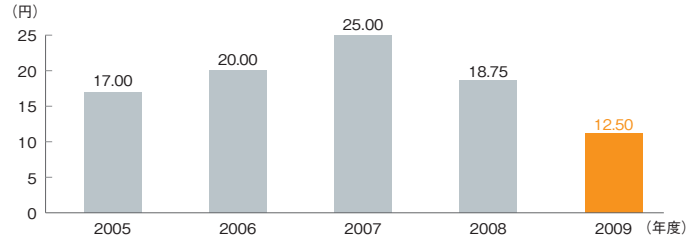
■売上高の推移（連結）



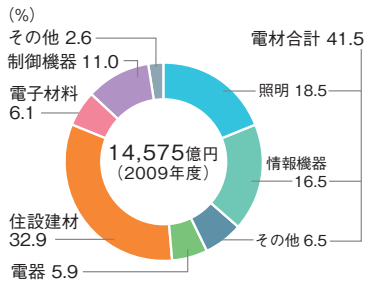
■営業利益の推移（連結）



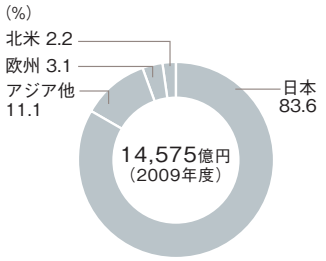
■1株当たり配当金の推移



■部門別売上高構成比（連結）



■地域別売上高構成比（連結）



沿革

国内

1918年　3月　松下幸之助が「松下電気器具製作所」を設立創業。配線器具の生産・販売を開始
1935年　12月　「松下電器株式会社」として分社。配線器具、合成樹脂、電線管を生産・販売
1943年　8月　「松下航空工業株式会社」に改称
1945年　11月　「松下電工株式会社」に改称
1952年　5月　蛍光灯器具の生産を開始
1955年　3月　ドライヤーを発売。同年12月には電気カミソリを発売
1958年　5月　プラスチック雨樋を発売。8月にプラスチック積層品〈パネライト〉を発売。建材事業に本格進出を果たす
1965年　6月　営業部制スタート
1981～83年　防災事業、健康商品事業、FA（ファクトリー・オートメーション）機器事業へ相次いで進出
1984年　6月　事業本部制がスタート
1988年　1月　企業スローガン「A&I 快適を科学します」を制定
1995年　7月　インターネットにホームページ「A&I 快適館」を開設
1998年　6月　高齢化対応介護事業参入
12月　社内分社制度を導入
2000年　12月　企業スローガン「Smart Solutions by NAIS」を制定
2003年　4月　東京・汐留に「松下電工ビル（現、パナソニック電工ビル）」がグランドオープン
2004年　4月　松下電器産業株式会社（現、パナソニック株式会社）が当社の親会社となる
12月　マーケティング本部制を導入
2005年　2月　決算期を11月30日から3月31日に変更
2008年　10月　「パナソニック電工株式会社」に改称。「Panasonic」ブランドに統一

海外

1974年　7月　ドイツにリレー製造会社「MSリレーズ有限会社（現、パナソニック電工ヨーロッパ株式会社）」を設立
アメリカにリレー製造会社「アロマット株式会社（現、パナソニック電工アメリカ株式会社）」を設立
1986年　12月　台湾に配線器具製造会社「台湾松工電材株式会社（現、パナソニック電工電材台湾株式会社）」を設立
1987年　7月　タイに電線管製造会社「タイ松下電工スチール株式会社（現、パナソニック電工スチールタイ株式会社）」を設立
1990年　3月　シンガポールに販売会社「アジアパシフィック松下電工株式会社（現、パナソニック電工アジアパシフィック株式会社）」を設立
1993年　1月　中国（北京）に照明・配線器具、電器商品などの製造会社「北京四通松下電工有限公司（現、パナソニック電工北京有限公司）」を設立
1995年　7月　香港に販売会社「香港松下電工有限公司（現、パナソニック電工香港有限公司）」を設立
1996年　1月　メキシコにアロマット社のサテライト工場「アロマットメキシカーナ株式会社（現、パナソニック電工メキシコ株式会社）」を設立
1997年　9月　中国（北京）に「松下電工（中国）有限公司（現、パナソニック電工中国有限公司）」を設立
2002年　8月　照明事業の欧州拠点となる「フォスロ・エレクトロ有限会社（現、パナソニック電工フォスロ・シュワーベ有限会社）」を買収
2007年　4月　インドにおける情報機器事業の拠点となる「アンカー エレクトリカルズ株式会社」を買収
12月　アメリカの照明部品製造企業「ULTホールディングス株式会社」を買収

※2010年4月1日現在

主な社外評価

2009年

4月
- 前年度の海外大規模災害の義援金支援に対し、内閣府から紺綬褒状
- 低圧力微気泡生成技術と最適気泡生成技術の開発に対し、「平成21年度文部科学大臣表彰（科学技術分野）の科学技術賞（開発部門）」を受賞

5月
- LED-UV硬化性を有するアクリル樹脂の開発で、社団法人大阪工研協会より、「第59回工業技術賞」を受賞

6月
- 「第2回 ダイバーシティ経営大賞」で大賞を受賞

- パナソニック電工施設照明㈱が、「兵庫県環境にやさしい事業者賞」を受賞
- 日本産業広告協会主催「2009日本BtoB広告賞」で、雨とい発売50周年記念誌が金賞（企業カタログ〈会社案内・営業案内〉の部）

7月
- 門真地区献血活動に対し、「第45回献血運動推進全国大会」にて、厚生労働大臣から表彰
- 東京本社ビルが、東京消防庁の認定する優良防火対象物認定証「優マーク」を取得

9月
- 住宅用火災警報機 ねつ当番、けむり当番が「2009日本パッケージングコンテスト包装技術賞（パッケージデザイン部門）」を受賞

- パナソニック電工香川㈱が、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構から「障害者雇用優良事業所　理事長表彰」を受賞
- 無軌道自律走行ロボット・血液検体搬送ロボットシステム「HOSPI-AL」が、「第14回日本ロボット学界実用化技術賞」を受賞
- 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス」に8年連続選定

10月
- 「第47回技能五輪全国大会」で当社社員が銅賞。敢闘賞も5人受賞

- マッサージソファが、「2009サライ大賞」で読者特別賞を受賞
- 「TPM優秀改善事例全国大会2009」で、当社代表サークルが、大会特別賞を受賞

11月
- マッサージソファが、「グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）」を受賞

- 大阪府暴力追放推進センターから感謝状を授与
- インドネシア向け配線器具「STYLEEシリーズ」が、「ドイツiFデザイン賞」を受賞

12月
- 社団法人日本品質管理学会より、「2009年度品質管理推進功労賞」を受賞

2010年

1月
- SAM社のCSR格付でゴールド（金）クラスのセクター・リーダーに選定

3月
- パナソニック電工滋賀㈱が、障害者雇用優良企業として厚生労働省の認証を取得

2009年度は、以下の社会的責任投資（SRI）銘柄として選定されています。

- 世界の代表的なSRI指標である“Dow Jones Sustainability Indexes（DJSI）”に8年連続選定されました。
- その評価機関であるSAM社のCSR格付において、2年連続でBuilding Materials & Fixturesセクターの「ゴールドクラス」および「セクター・リーダー」に選定されました。Construction & Materialsセクターにおいて、2009年度の「スーパー・セクター・リーダー」に認定されました。
- モーニングスター社（日本）のSRI構成銘柄150社に7年連続で選定されました。
- ETHIBELにも対象年度で初選定されました。

Dow Jones Sustainability Indexes Member 2009/10

sam 2010 gold class

sam 2010 sector leader

MS-SRI

ETHIBEL PIONEER & EXCELLENCE

Panasonic Living SHOWROOM

パナソニック リビング ショウルームでは
最新のシステムキッチンやバスルーム、
防犯に効果的な電気設備や省エネのあかりなど、
住まいの1軒分の設備をご覧いただけます。
明日のライフスタイルをお届けする
パナソニックの住まいづくりをぜひご体感ください。

札　幌	北海道札幌市北区北9条西2丁目1番地	TEL 011-727-5066	休館日:水曜日・お盆・年末年始
仙　台	宮城県仙台市青葉区本町2丁目4番6号仙台本町三井ビルディング	TEL 022-225-4357	休館日:水曜日・お盆・年末年始
東　京	東京都港区東新橋一丁目5番1号	TEL 03-6218-0010	休館日:水曜日(祝日の場合は除く)・お盆・年末年始
横　浜	神奈川県横浜市神奈川区金港町2番6 横浜プラザビル	TEL 045-453-0981	休館日:水曜日・お盆・年末年始
名古屋	愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号	TEL 052-583-8281	休館日:水曜日(祝日の場合は除く)・お盆・年末年始
大　阪	大阪府大阪市中央区城見2丁目1番3号	TEL 06-6943-9575	休館日:水曜日(祝日の場合は除く)・お盆・年末年始
広　島	広島県広島市中区中町7番1号	TEL 082-247-5766	休館日:水曜日(祝日の場合は除く)・お盆・年末年始
福　岡	福岡県福岡市中央区薬院3丁目1番24号	TEL 092-521-7993	休館日:水曜日・お盆・年末年始

北海道／旭川、帯広、函館　**東北**／青森、盛岡、秋田、山形、福島、郡山　**関東**／水戸、宇都宮、高崎、さいたま、千葉、柏、立川、相模原、甲府
中部／新潟、長岡、富山、金沢、福井、長野、松本、岐阜、静岡、沼津、浜松、岡崎、津、四日市　**近畿**／滋賀、京都、箕面、神戸、姫路、奈良、和歌山
中国／米子、岡山、福山、山口、下関　**四国**／徳島、高松、松山、高知　**九州**／北九州、久留米、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄（2010年7月現在）

http://sumai.panasonic.jp/sr/

Panasonic
ideas for life

パナソニック電工株式会社

本　　社　〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地　TEL 06-6908-1131(代表)
東京本社　〒105-8301 東京都港区東新橋一丁目5番1号　TEL 03-6218-1131(代表)
http://panasonic-denko.co.jp/

ハロー！環境技術
エコ製品で止めよう温暖化 チーム・マイナス6%
パナソニックグループは、みなさまと共に「チーム・マイナス6%」に取り組んでいます。
eco ideas

■発行：CSRM・社会貢献室、宣伝部
2010年8月発行　CSRM-1 AUG10 5YY②
ZECT1900